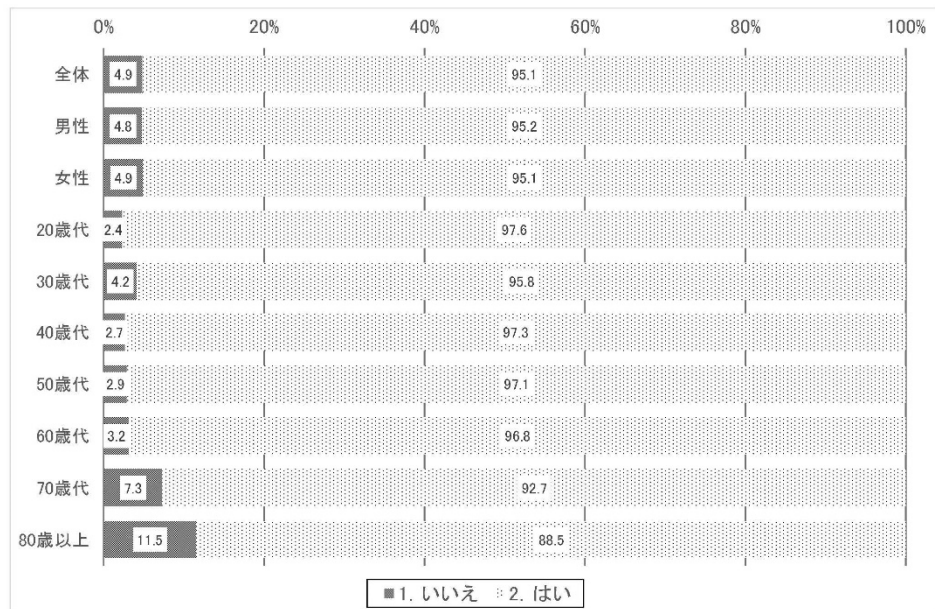
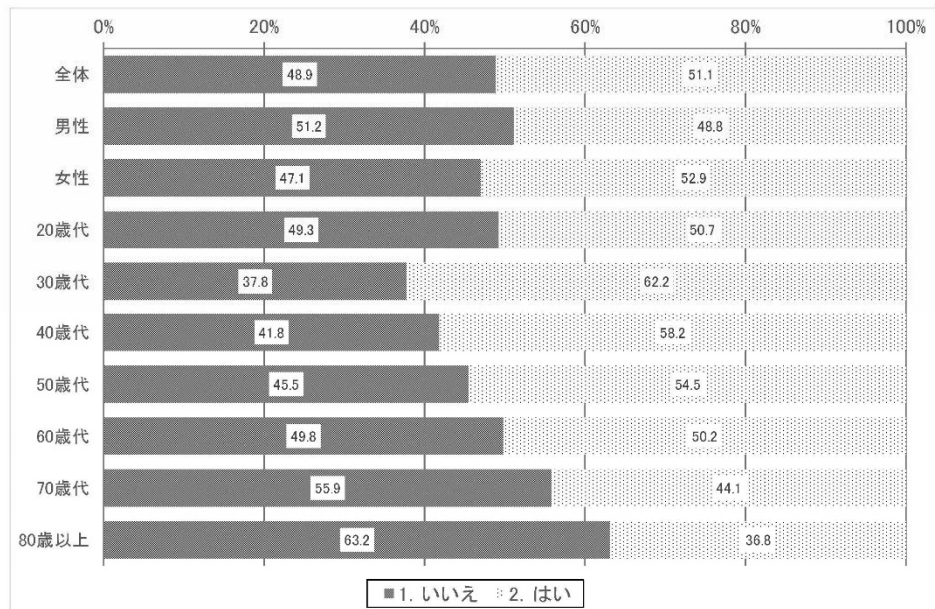


Q25 あなたが喫煙が体に影響を与えると思うものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

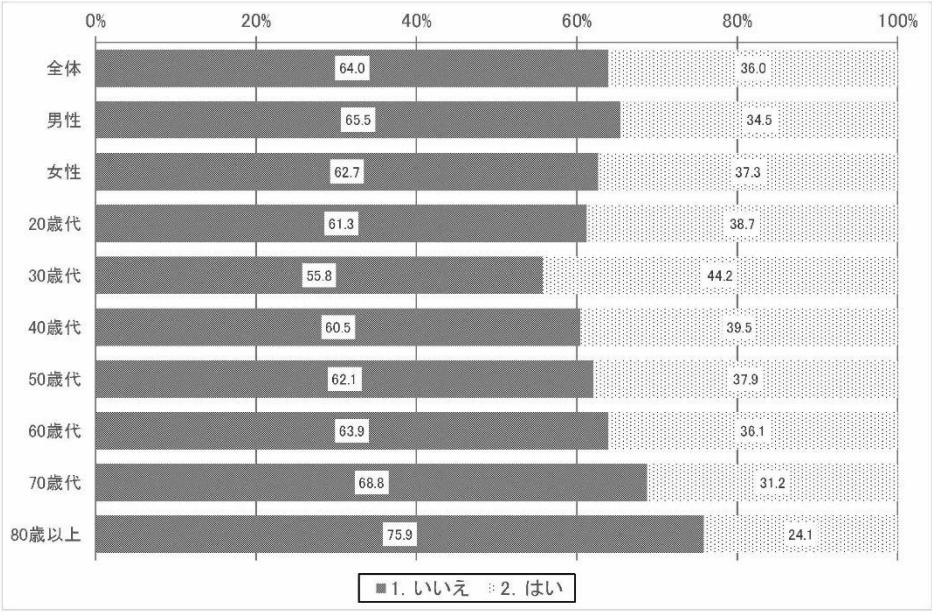
Q25-1. 肺がん



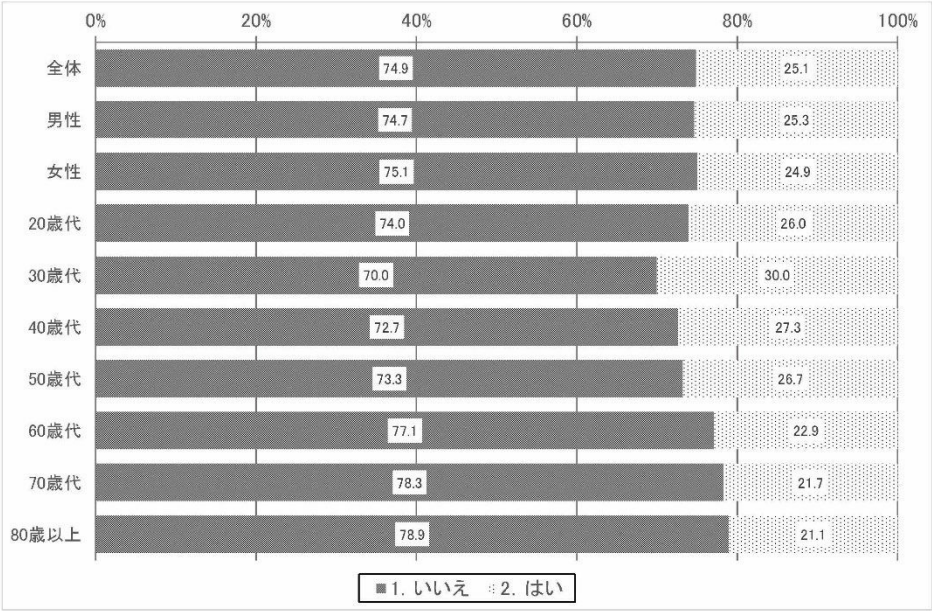
Q25-2. 喉頭がん



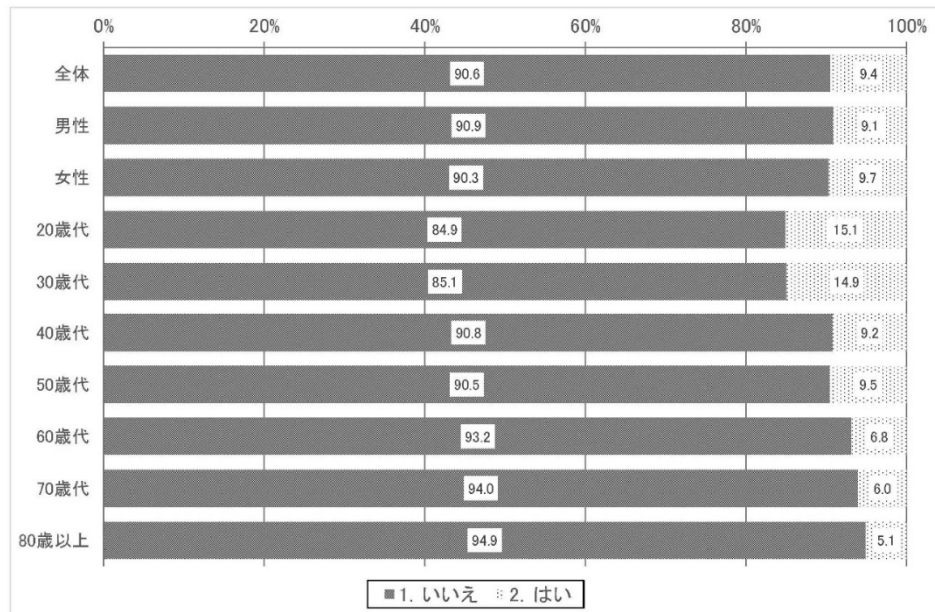
Q25-3. 食道がん



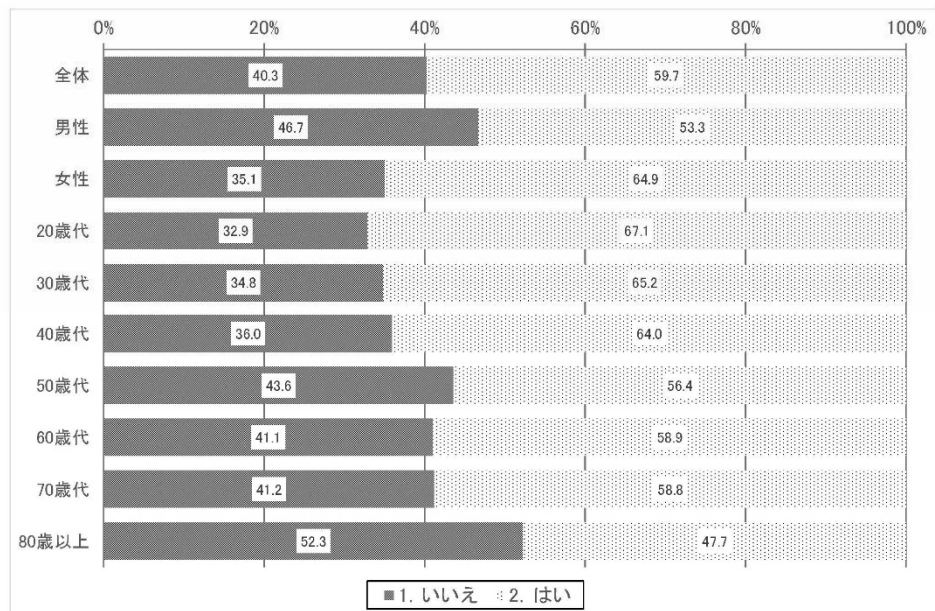
Q25-4. 胃がん



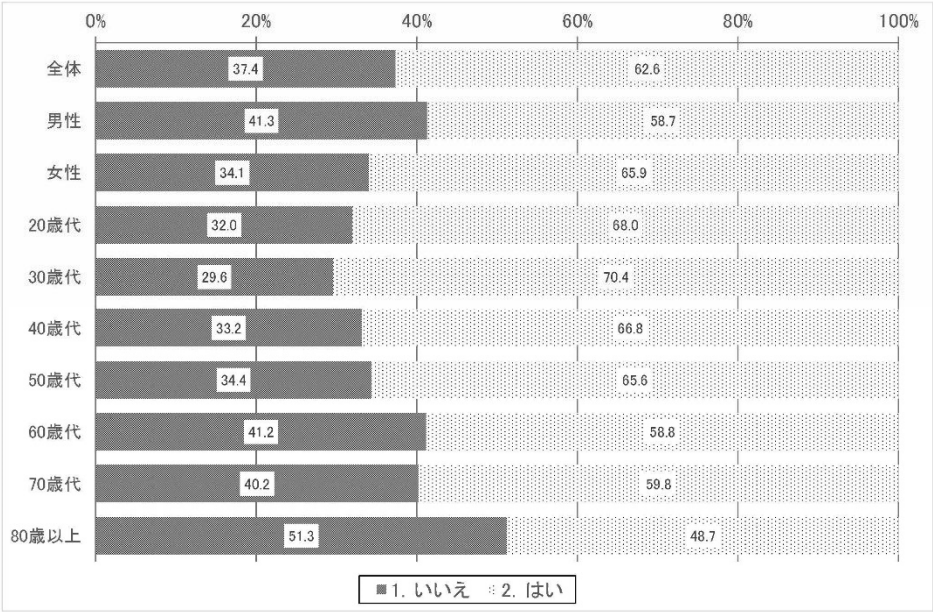
Q25-5.膀胱がん



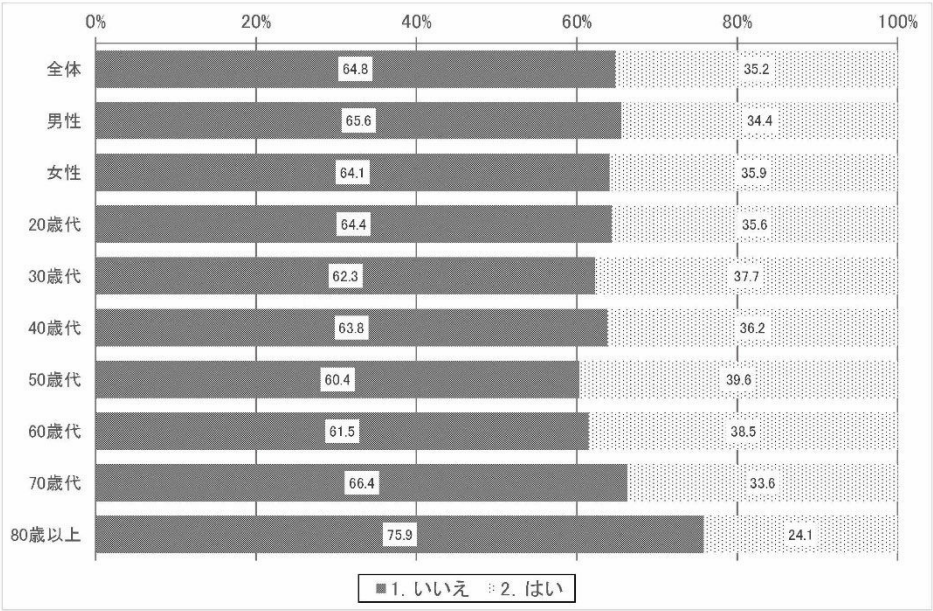
Q25-6. ぜんそく



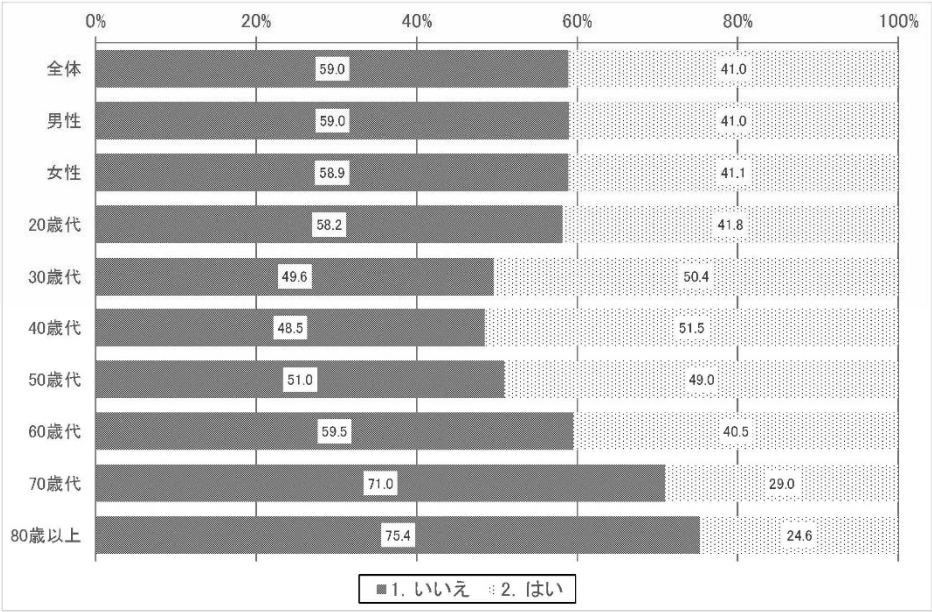
Q25-7.気管支炎



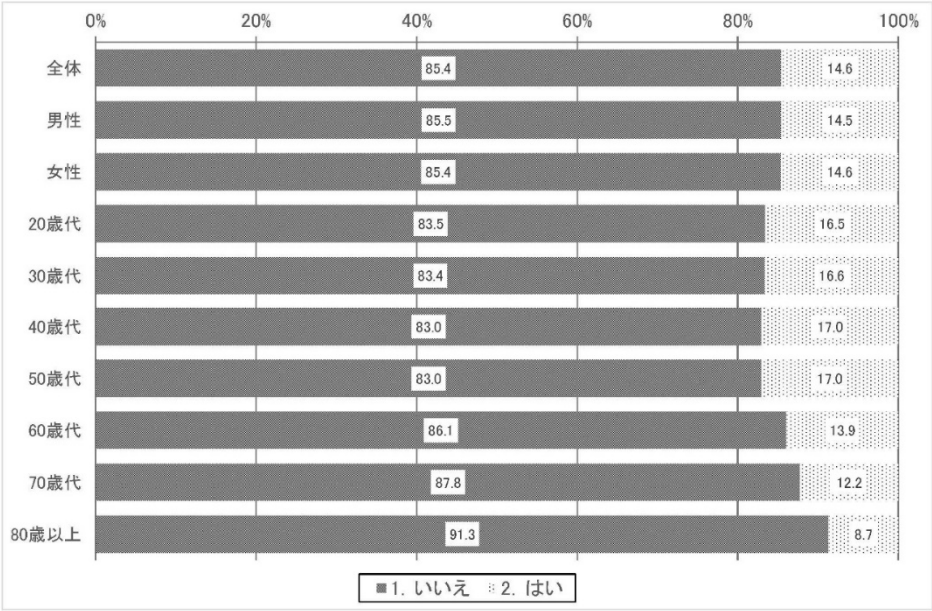
Q25-8.心臓病



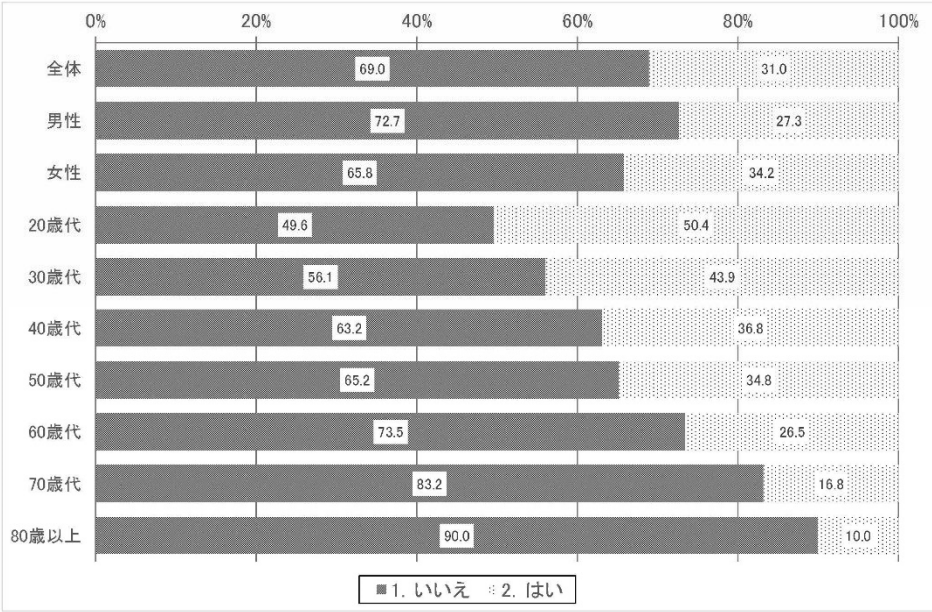
Q25-9.脳卒中



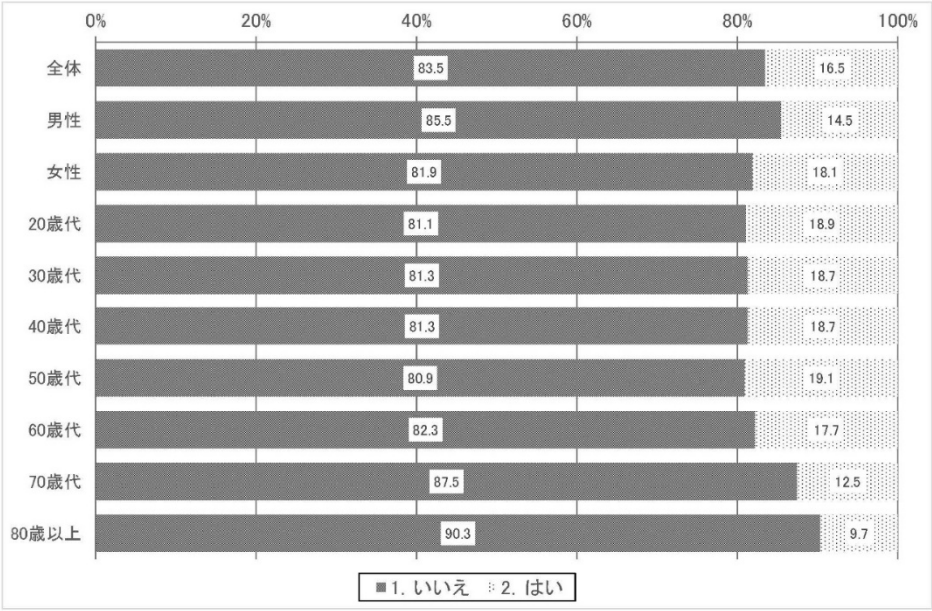
Q25-10.胃潰瘍



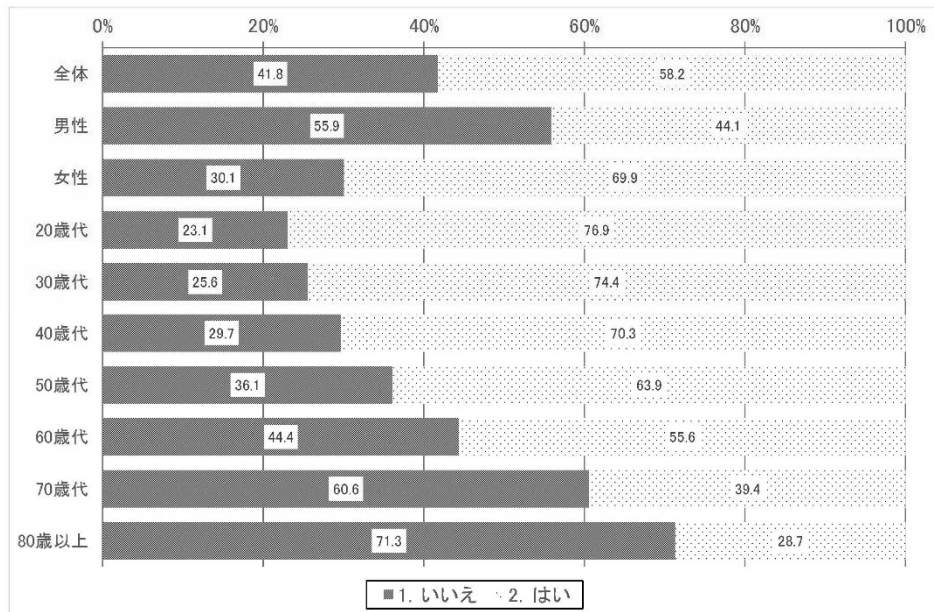
Q25-11.歯周病



Q25-12.認知症



Q25-13.妊娠への影響

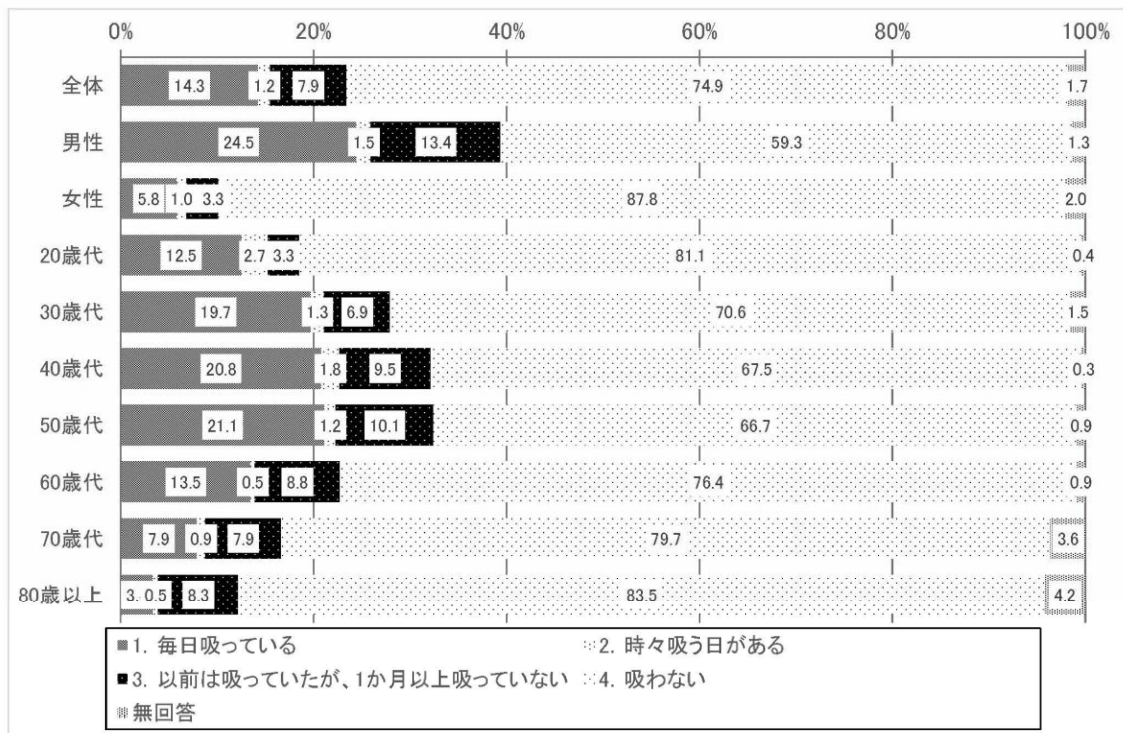


喫煙が体に影響を与えると思うものについて、「はい」と回答した人の割合は、肺がんで95.1%と最も高く、次いで気管支炎で62.6%、喘息で59.7%であった。

性別の集計では、多くの項目において男性と比べて女性の方が、喫煙が体に影響を与えると思うものについて「はい」と回答する割合が多かった。

年代別の集計では、多くの項目で年代が上がるにつれて、「はい」と回答する割合が少なくなっており、若い人の方がより喫煙が体に影響を与えるものについて知っている傾向があった。

Q26: あなたは、たばこを吸いますか。(あてはまるもの1つに○)



「あなたは、たばこを吸いますか。」という問いに対し、「毎日吸っている」割合は全体の14.3%であった。

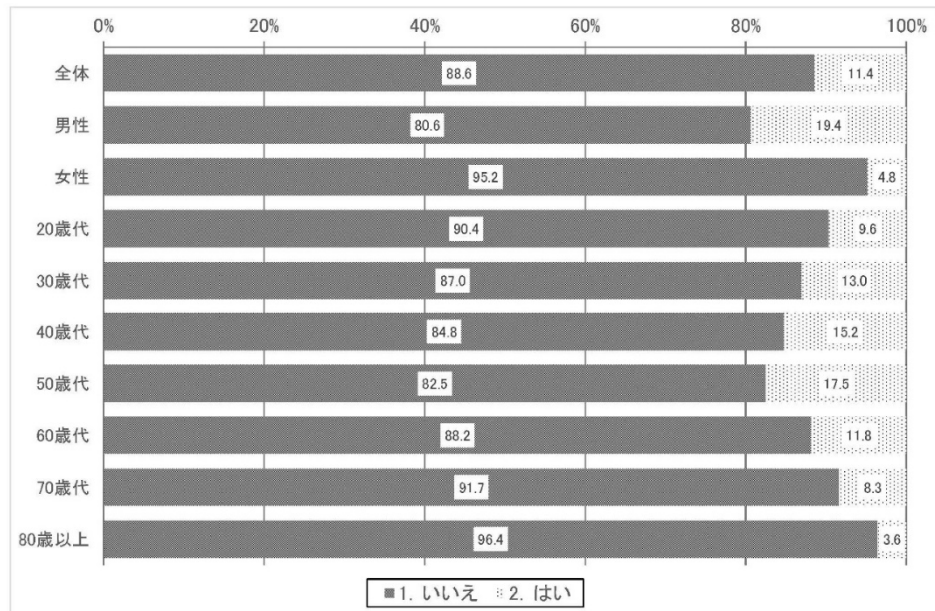
性別の集計では、「毎日吸っている」割合は男性で24.5%、女性で5.8%とより男性の方が高い傾向にあった。

年代別の集計では、「毎日吸っている」割合は50歳代で21.1%と最も高く、次いで40歳代で20.8%であった。一方、80歳以上が3.5%と最も割合が低かった。

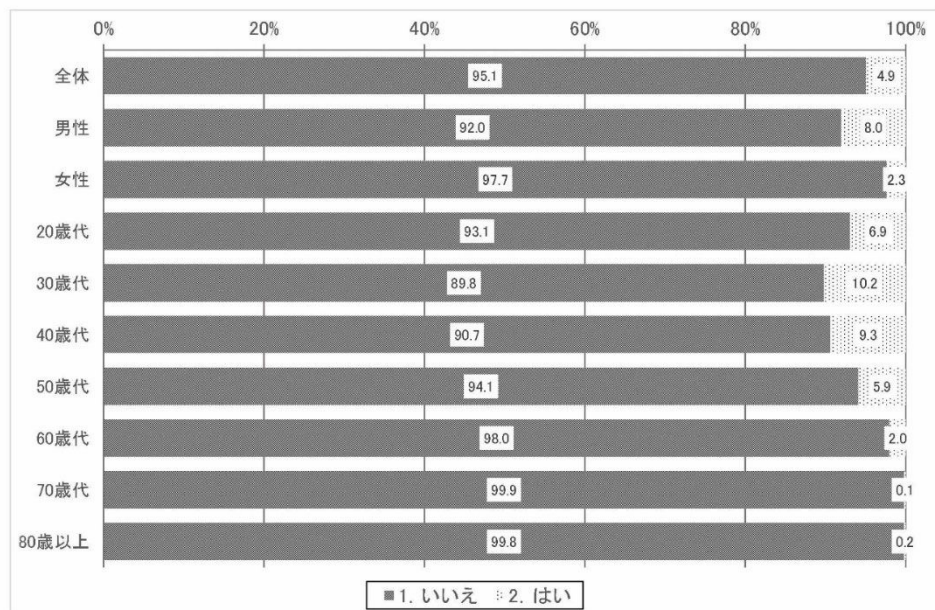
Q27

Q26 で 1 または 2 と答えた方にお尋ねします。現在、あなたが吸っているたばこ製品は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

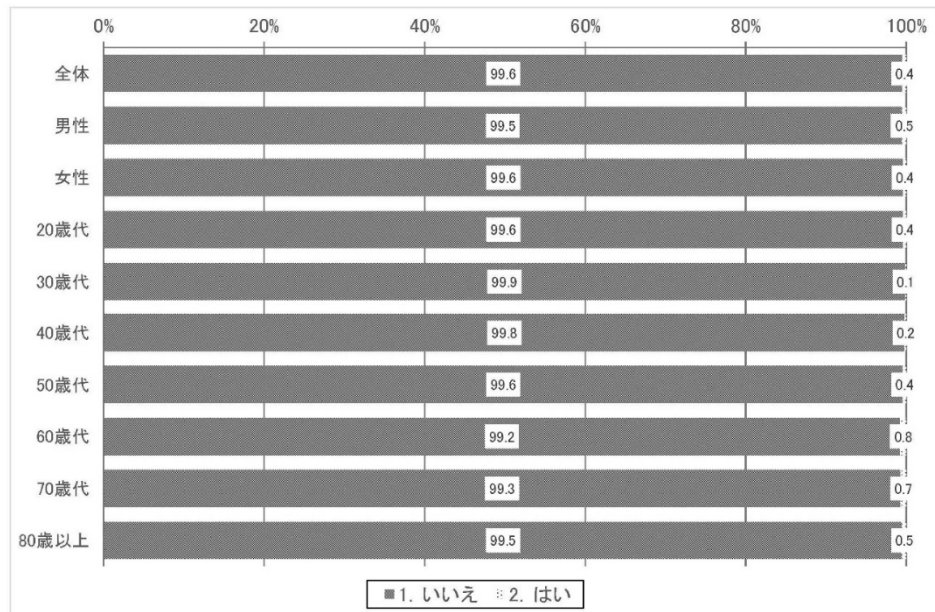
Q27-1. 紙巻きたばこ



Q27-2. 加熱式たばこ



Q27-3. その他

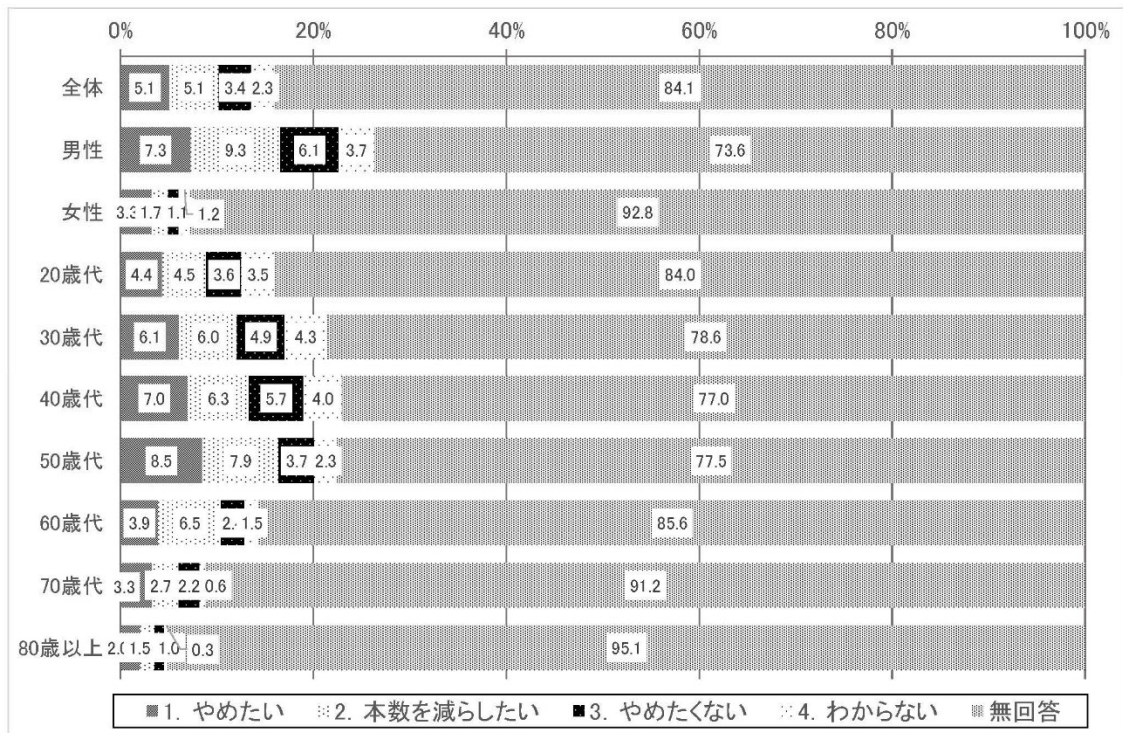


問 26 で「毎日吸っている」または「時々吸う日がある」と回答したもののうち、現在、吸っているたばこ製品として、紙巻きたばこが最も多く、次いで加熱式たばこが多かった。

男女ともに紙巻きたばこを吸っている人の割合が最も高いが、より男性の方が紙巻きたばこを吸っている割合が高い傾向がある。

また年代別にみると、紙巻きたばこを吸っている割合が最も高いのは 50 歳代である一方で、加熱式たばこを吸っている割合が最も高いのは 30 歳代であった。

Q28: Q26 で 1, 2 と答えた方にお尋ねします。あなたは、たばこをやめたいと思いますか。(あてはまるもの 1 つに○)

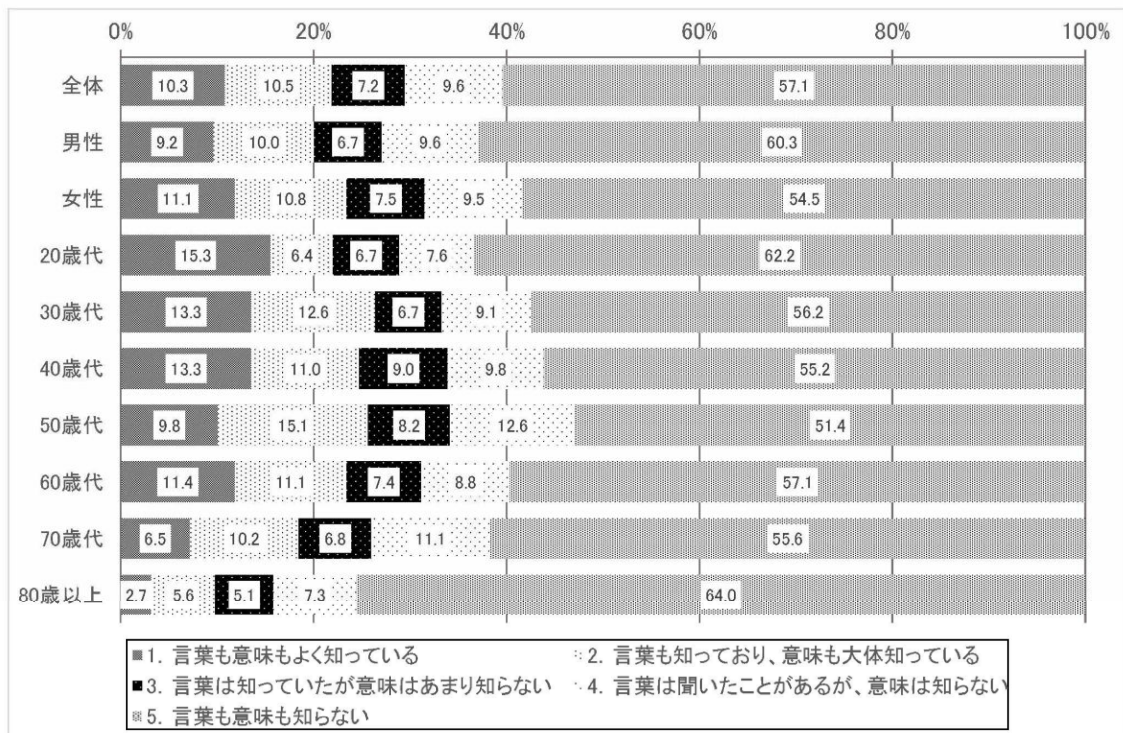


たばこを吸う習慣があるもののうち、たばこをやめたいと思っている割合は全体の 5.1%であり、本数を減らしたいと思っている割合は全体の 5.1%であった。

性別の集計では、「たばこをやめたい」または「本数を減らしたい」と思っている割合は、男性が 16.6%、女性が 5.0%とより男性のほうがたばこをやめたいと思っている傾向にあった。

年代別の集計では、「たばこをやめたい」または「本数を減らしたい」と思っている割合は、50 歳代が 16.4%と最も高く、80 歳以上が 3.5%と最も低かった。

Q29: あなたは COPD という言葉や意味を知っていますか。(あてはまるもの 1 つに○)



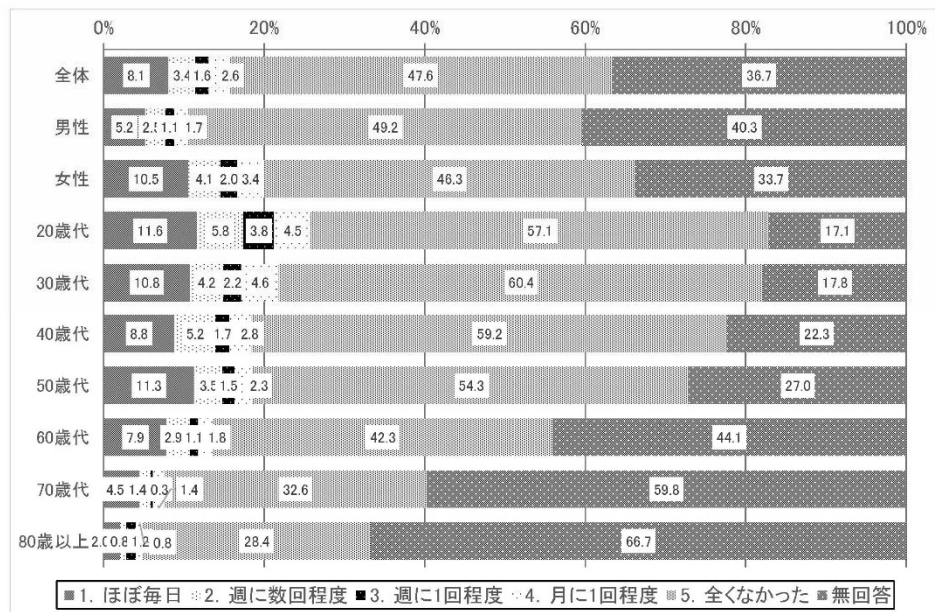
全体の集計において、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の言葉も意味も知らない割合が 57.1%と半数以上であった。

性別の集計では、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の言葉も意味も知らない割合が男性で 60.3%、女性で 54.5%と男性の方がより知らない傾向にあった。

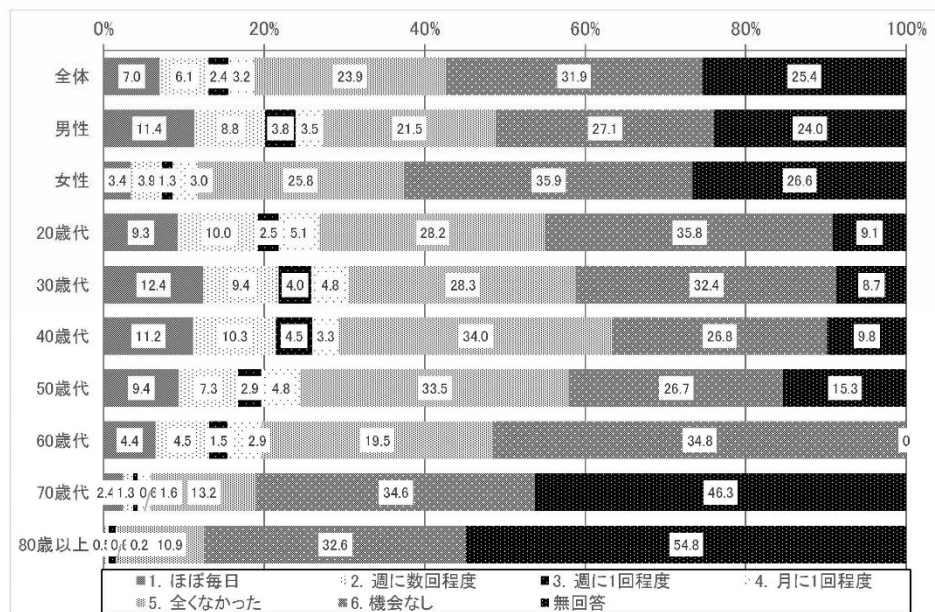
年代別の集計では、20 歳代から 40 歳代の約 1 割程度のものが「言葉も意味もよく知っている」と回答していたものの、すべての年代で半数以上が「言葉も意味も知らない」と回答していた。

Q30 あなたは、この1ヵ月間に自分以外の人が吸っていたたばこの煙を吸う機会(受動喫煙)がありましたか。
(あてはまるもの1つに○)

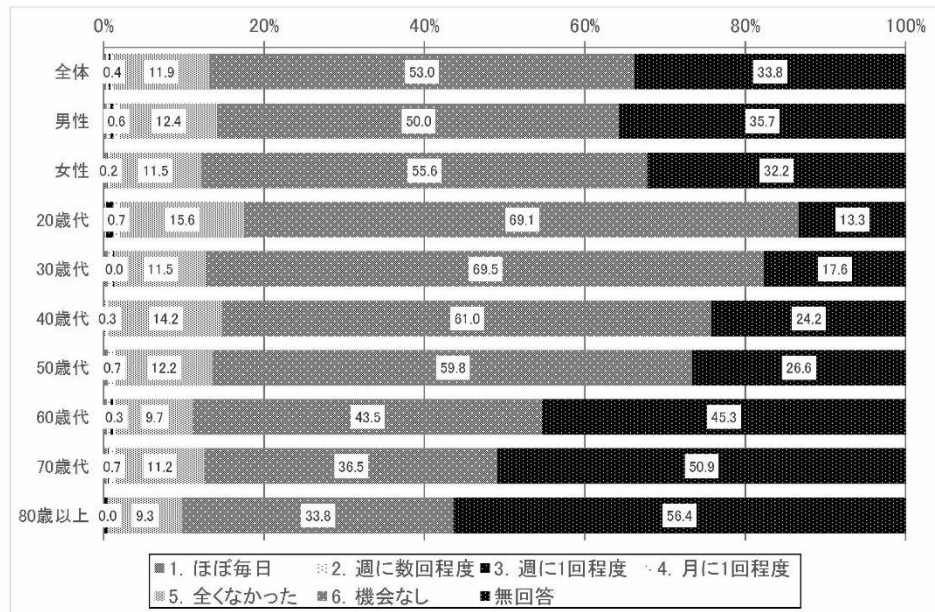
Q30-ア. 家庭



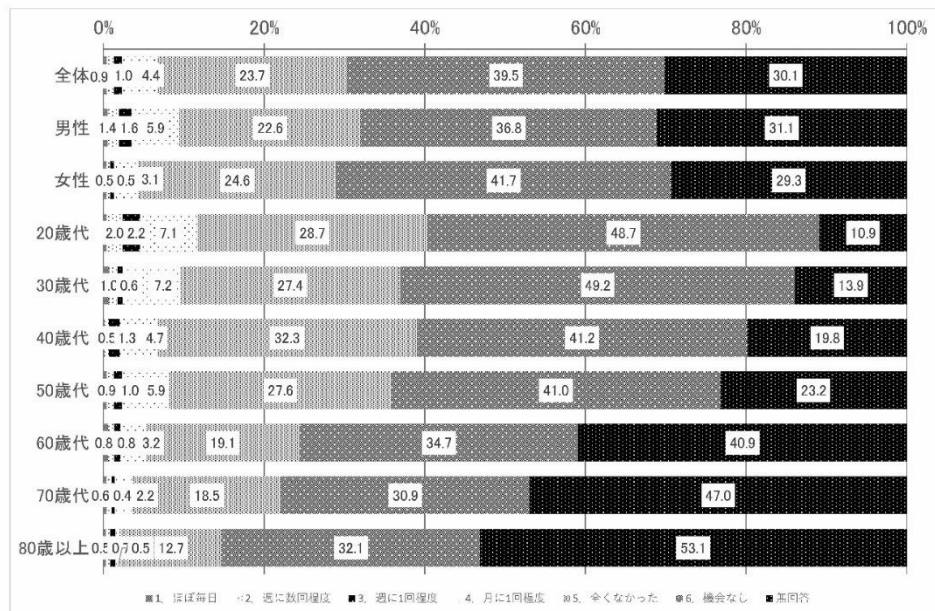
Q30-イ. 職場



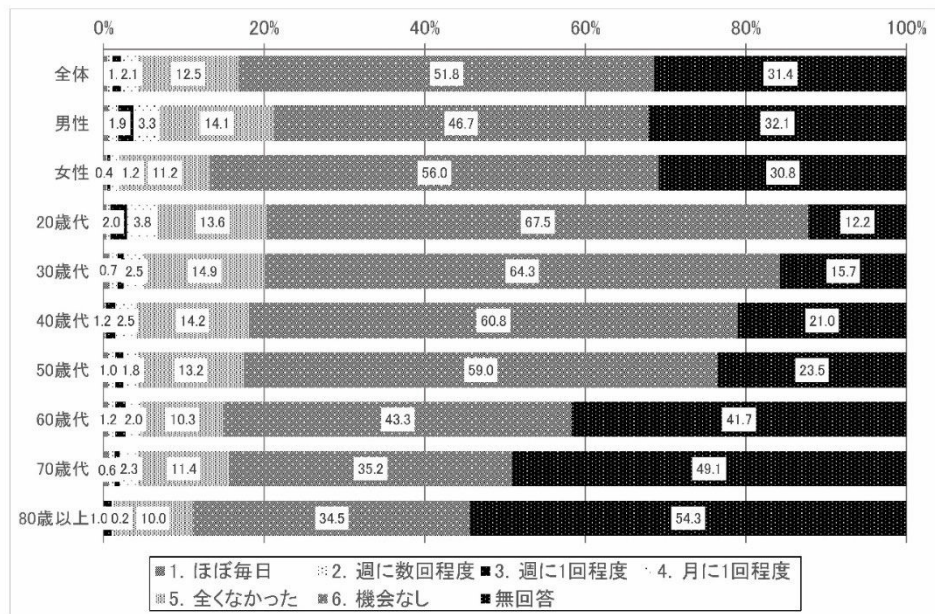
Q30-ウ. 学校



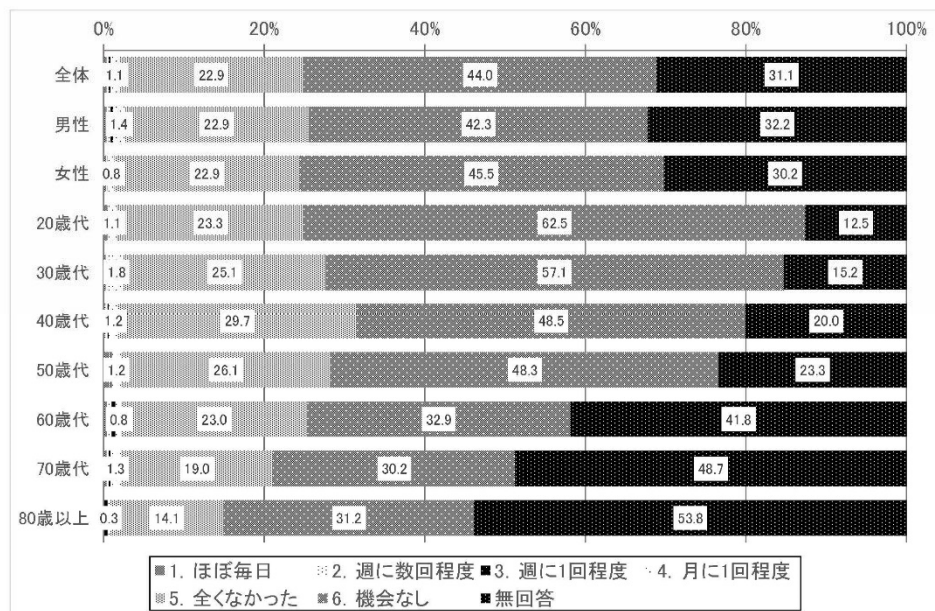
Q30-エ. 飲食店



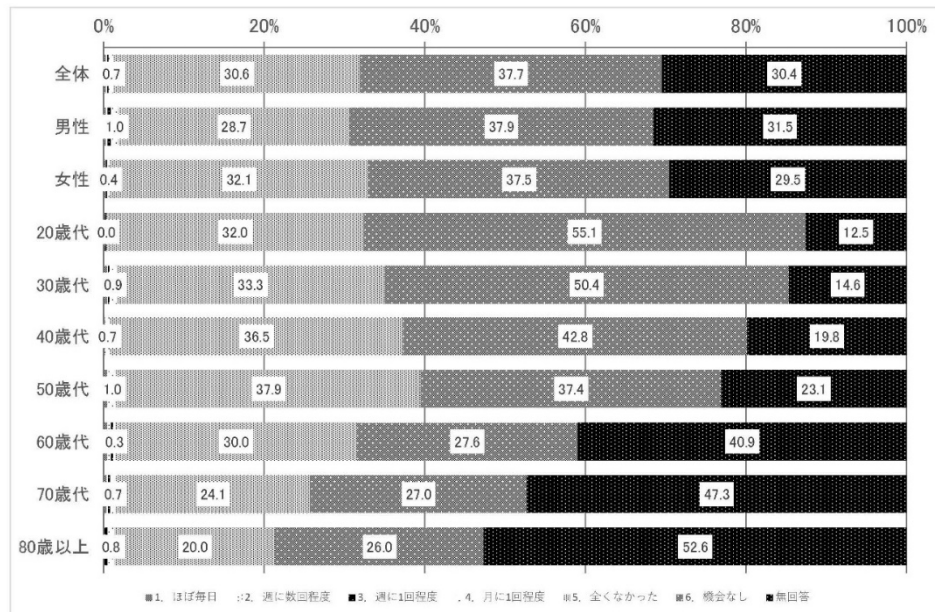
Q30-オ. 遊技場



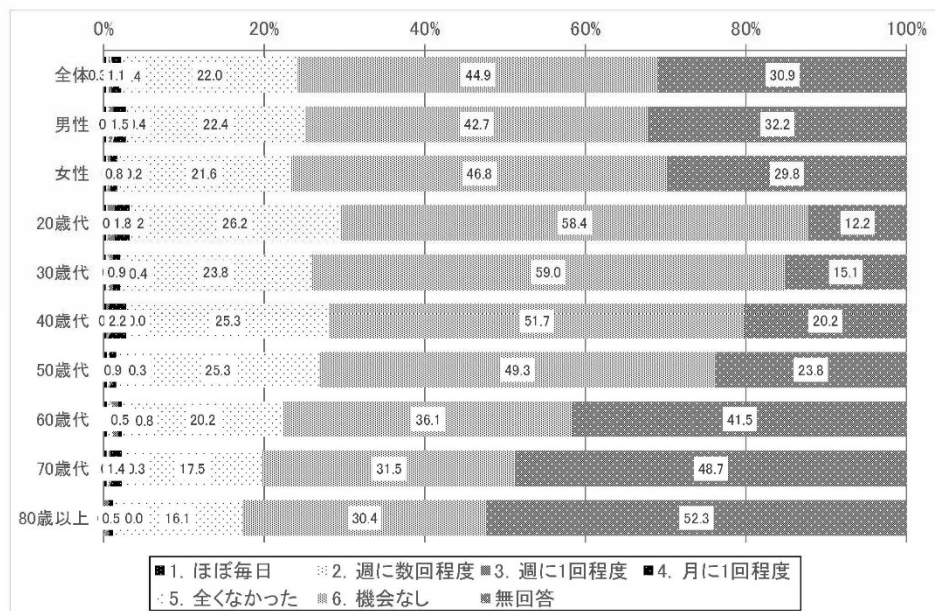
Q30-カ. 行政機関



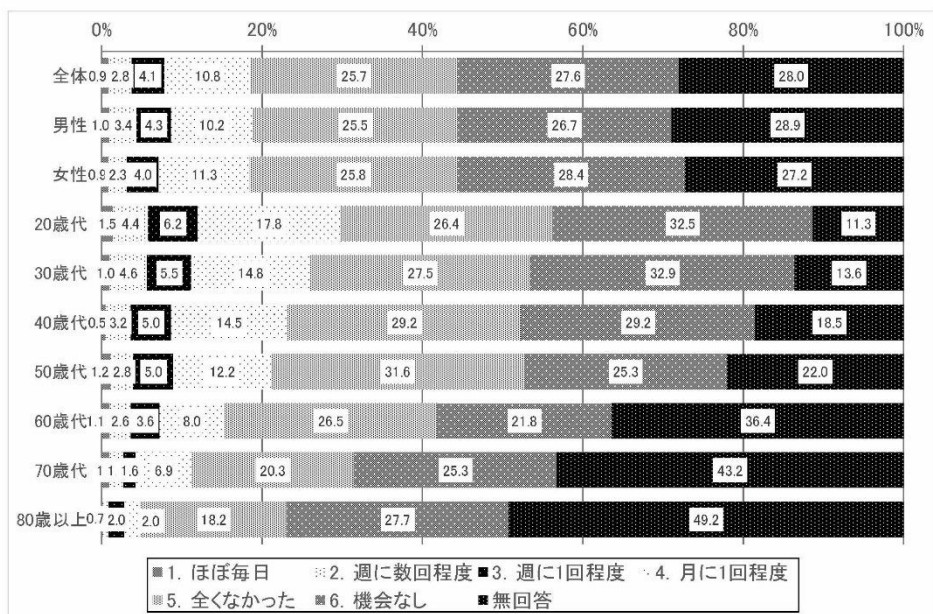
Q30ーキ. 医療機関



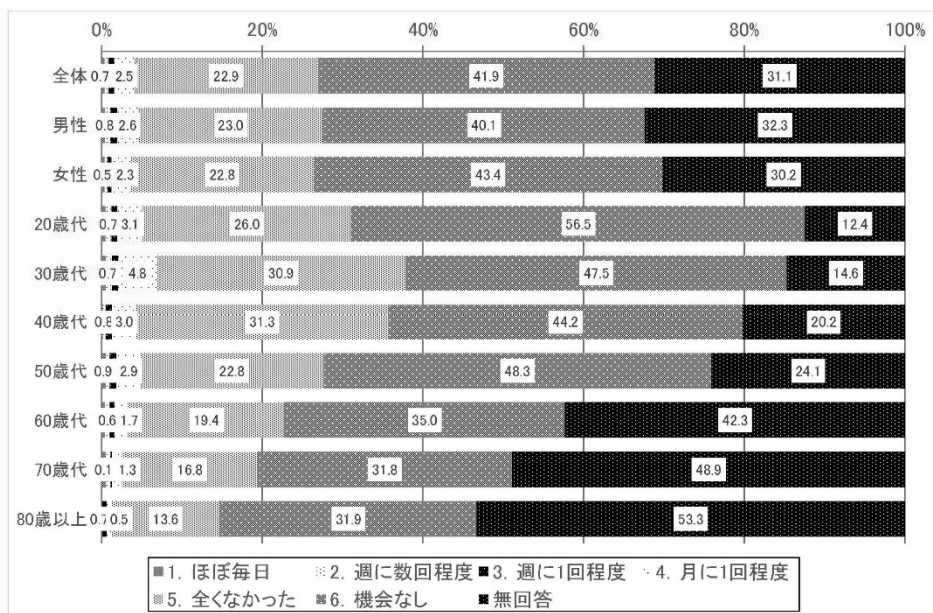
Q30ーク. 公共交通機関



Q30ーケ. 路上



Q30ーコ. 子どもが利用する屋外空間



「この1ヵ月間に自分以外の人吸っていたタバコの煙を吸う機会(受動喫煙)がありましたか。」の問いに対して、ほぼ毎日と回答した人の割合は、職場で7.0%と最も高く、家庭で6.1%であった。

性別の集計では、職場でほぼ毎日と回答した人の割合は、女性(3.4%)と比べて男性(11.4%)の方が高く、家庭ではほぼ毎日と回答した人の割合は、男性(5.2%)と比べて女性の方(10.5%)が高かった。

年代別の集計では、多くの項目で年代が上がるにつれて、受動喫煙の機会が少なくなる傾向があった。